

別議第1-0103号

平成30年9月27日

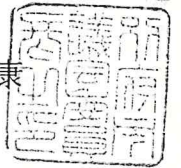
別府市長 長野 恭紘 殿
(総務課付)

別府市議会

議長 黒木 愛一郎

予算決算特別委員会

委員長 加藤 信 康



平成30年予算決算特別委員会（平成29年度決算認定審査）

意見書について

平成30年 第3回 市議会定例会、本会議において、付託を受けました「議第84号 平成29年度 別府市一般会計歳入歳出決算の認定について」から「議第92号 平成29年度 別府市水道事業会計決算の認定について」までの計9議案については、認定すべきものと決定いたしました。改善提案等を別紙のとおり予算決算特別委員会の意見書としてとりまとめましたので、送付いたします。

1 持続可能な財政運営について

経常収支比率は前年と同じく97.8%と極めて高い状況が続いており、実質単年度収支も2年連続で赤字となっている。持続可能な財政運営を図るため、以下の実施を求める。

- (1) 第4次行政改革推進計画を確実に進めることで、経常的な歳出経費の削減に努め、行政運営の効率化を図ること
- (2) 公共施設保全実行計画の速やかな策定と公共施設再編整備基金の積立目標額の設定により将来に備えていくこと
- (3) 有利な地方債の発行により資金コストの低減を図り、新規発行額と償還額のバランスに留意することで地方債残高のコントロールに努めること
- (4) 歳入として新たな財源づくりに努めること

2 事業・施策の評価・見直しについて

「決算に係る主要な施策の成果に関する説明書」に示されている事業の評価について、統一的な判断基準による評価を求める。また、施策の成果をより明確にするために、複数課が連携して行う事業の連携も可視化するなど、事業単位にとらわれない施策の多面的な評価ができるよう事業評価の手法を検討することを求める。

また、産業の振興「儲かる別府」に関する事業等において、現時点では目標とする成果が得られていない事業がある。費用対効果をしっかりと見極め、事業成果が希薄な場合は事業の見直しを検討するよう求める。

3 補助金の効果的かつ適正な執行について

各種団体への補助金は、団体運営費補助金等とイベント補助金等があるが、特に団体運営費補助金は補助金額も大きく、事業内容の公益性と透明性を確認することが必要である。適正な執行を確保するため、地方自治法第199条第7項に基づく監査を実施することを求める。

また、補助金等交付規則及び交付指針を見直し、現状に合った補助金支給制度の確立を求める。

4 次年度（平成31年度）の予算編成等について

本意見書を平成31年度の当初予算編成に反映することを要望する。

また、予算審議と決算審査の循環性を図るため、平成31年（平成30年度決算認定審査）予算決算特別委員会において、その取り組みについての回答を要望する。

平成30年9月27日

予算決算特別委員会

委員長 加藤 信 康